



## ～梅雨時の安全運転のポイント～

降雨時は、視界が悪くなる、路面が滑りやすいなど車の運転にとって悪条件が重なるため、事故が発生しやすく、注意深い運転が望まれます。そこで今回は、降雨が運転に与える影響や降雨時の安全走行のポイントについてまとめてみました。



### 雨が運転に与える影響

#### 雨滴やガラスの曇りなどで視界が悪くなる

降雨時は、フロントウインドウ、リアウインドウなどやドアミラーに雨滴が付着して、前方、後方、側方のいずれの視界も悪くなります。また、車内側のウインドウガラスが曇ることがあります。走行中にフロントウインドウが曇って、ほとんど前方が見えなくなってしまうことがあります。これは雨天時に起こりやすい現象で、車内の湿度の上昇や車の内と外の温度差などが原因とされています。湿度は人の呼吸によっても上がるので、乗車人員が多いほど曇りやすくなります。



#### 他車の水しぶきに視界を遮られる

前車や側方通過車、対向車がはね上げる水しぶきによって、一瞬、前方の視界が遮られることがあります。特に相手がトラックなどの大型車の場合は、水しぶきが大きな波のように自車を襲ってきて、視界が遮られるだけでなく、反射的に水しぶきを避けようとして姿勢が崩れ、運転操作を誤ることもあります。



#### バック時の安全確認が不十分になる

降雨時に屋外でバックするときは、窓を閉めたままでのバックになりがちですが、ドアミラーもリアウインドウも雨滴で見えにくいため、後方や側方の安全確認が不十分になります。また、バックモニターを装着している車でも、雨によりモニターの映像が見えづらくなっているので、見落としの危険性が高まります。



#### 路面が滑りやすくなる

降雨時は路面が濡れて滑りやすくなっているため、乾燥した路面よりも、危険を発見してからブレーキを踏み車が止まるまでの停止距離が長くなります。また、急ブレーキや急ハンドルなどの操作をするとスリップする危険があります。



## 小さなキズやへこみなど放置していませんか？

自動車のボディーやバンパーにつけてしまった小さなキズやへこみ、エクボなど修理費用がかかるし、修理工場もよくわからないなど、修理するまでもないとそのまま放置していませんか？

大東工業にお気軽にご相談ください。損傷やご予算に応じて対応をさせていただきます。

## 修理の一例



**車検や点検などの機会に気になっていた箇所を修理されてはいかがでしょう？**



● 鈑金・塗装工場  
名古屋市港区正保町8-22  
052-381-9161

● 福祉車両・保険受付  
名古屋市中川区中野新町4-35  
052-354-5433

